

平成22年度美術講座〈楽しい美術史入門—近代から現代へ〉

回	月 日	講 座 名	内 容
第1回	5月13日(木)	ガイダンス/美術館ボランティアへのいざない	講座趣旨説明/幅広い視野から美術館めぐりなどの体験談を交え心豊かな生活を送るヒントを語る。
第2回	5月20日(木)	モネとゴッホ 印象派から後期印象派へ	印象派を中心として、新印象派、後期印象派まで19世紀後半に興った西洋美術の新しい流れを紹介する。
第3回	5月27日(木)	マティスとピカソ、モンドリアン フォーヴィスムからキュビスム、抽象絵画へ	世紀末の象徴主義を源として、フォーヴィスム、ドイツ表現主義へと連なる、感覚の表出を志向した20世紀初頭までの系譜をたどる。
第4回	6月 3日(木)	デュシャンとエルンスト ダダからシュルレアリスムへ	ダダイズムからシュルレアリスムへの流れを追い、20世紀前半に展開された、人間の情念を創造の出発点とする表現の系譜を紹介する。
第5回	6月10日(木)	ポロックとウォーホル 戦後アメリカ美術の軌跡	抽象表現主義からコンセプチュアル・アートまで、世界の美術界の動向をリードした戦後アメリカ美術の成果を紹介する。
第6回	6月17日(木)	黒田清輝と近代洋画	高橋由一を先駆者とする明治期の「洋画」の確立、印象派以後の新思潮の導入、梅原・安井に代表される「日本的油彩」に至る過程を扱う。
第7回	7月 8日(木)	「古代ローマ帝国への遺産」展への招待	開催中の「古代ローマ帝国への遺産」をより深く鑑賞するためのポイントを紹介する。
第8回	7月15日(木)	横山大観と近代日本画	明治期の「日本画」の概念の成立から、大正期における油彩的表現の探求や伝統的表現の見直し、昭和期の新古典的表現などへ至る過程を扱う。
第9回	7月22日(木)	三岸好太郎と昭和モダニズム	三岸の作風の変遷を追いながら、日本的フォービスムの展開、大正期の前衛絵画運動、シュルレアリスムなど大正から昭和初期にかけてのモダニズムの動向を概観する。
第10回	7月29日(木)	岡本太郎と戦後アヴァンギャルド	シュルレアリスムからアヴァンギャルドのリーダーへと至った岡本太郎の足跡を軸に、戦中からくもの派まで、日本美術界の軌跡を追う。
第11回	8月 5日(木)	北海道美術の100年	北海道立近代美術館コレクションを中心に、戦前から戦後にいたる北海道美術の代表作を紹介する。
第12回	8月12日(木)	ガレとアール・ヌーヴォー、ガラスの世界	北海道立近代美術館コレクションを中心に、現代に至るガラスの造形世界を、歴史を辿りながらわかりやすく紹介する。
第13回	8月19日(木)	1920年代、パスキンとパリの芸術家たち	北海道立近代美術館コレクションのなかでもパスキンを中心に、エコール・ド・パリの群像とその終焉までを紹介する。
第14回	8月26日(木)	美術の見方・感じ方(日本編)	日本美術の見方を、自然のモチーフや季節、象徴性、遠近法などを例にとりわかりやすく紹介。
第15回	9月 2日(木)	美術の見方・感じ方(西洋編)	西洋美術の見方をアイコン、シンボルなどを例にとり、いくつかの作品をわかりやすく紹介。

*講座日程・内容が、都合により変更になる場合もありますので予めご了承ください。